MONTHLY
かわせみ通信
9月号
2015年9月
Vol.73
発行所 株式会社東海テクノ ECOLOGY & SCIENCE
本社／三重県四日市市午起2丁目4番18号（〒510-0023）
TEL.059-332-5122(代) http://www.tokai-techno.co.jp

後追いで間に合うか？ ～再生可能エネルギーの持続可能性～

再生可能エネルギーとして急激に普及した太陽光発電。その他の再エネに比べて当初買取価格が高く設定されたことと優遇税制もあって、「メガソーラー」と呼ばれる大規模な施設もよく目にするようになった。2012年7月に再生可能エネルギー　固定価格買取制度（FIT)の運用が開始されて3年。早急に普及することを重視し、「インセンティブ優先、面倒なことは後で」の姿勢で俗に”太陽光バブル”と称されるほど多量の設備認定を生み出し、昨年には接続可能量を超えるとして系統接続の回答を中断する電力会社もでた。本年1月に、電力会社が再エネの電気を系統内に受け入れない出力抑制のペナルティを回避しやすいルールに改正されると同時に、設置者に遠隔出力制御システムの導入を義務化することで系統接続の回答は再開されたものの、こうした後追い型のルール改定は、先に太陽光バブル破綻を経験したドイツやスペインの経験を踏まえれば想定の範囲内だけに残念でならない。メガソーラーについては、こうした接続の問題の他にも、景観の破壊や国民への負担金の制度が外国企業に利用されていることなどへの懸念も出ており、特に太陽光発電施設は環境アセスメントの実施は不要となっていることから、今後何らかの環境又は災害などの問題が発生した場合には、また後追いでルール改定がなされるという流れも容易に想像できる。毎年買取価格を下げ、「グリーン投資減税」でも太陽光は優遇を延長しないことにして、再エネにおける太陽光の割合を抑制する方向に舵は切られた。とはいえ、翌年から条件が変わると発表される度に駆け込み需要が生まれてきた経緯から、今まで買取価格が決まるのは設備認定時点としていたルールを、今年4月に接続契約時点にこれまた後追い改正した。9月4日、経産省は、新たな有識者会議「再生可能エネルギー導入促進関連制度改革小委員会」を設置し、再エネの制度見直しを行うと発表した。再エネを持続可能な形で長期安定的なエネルギー源とするため、とされるこの後追い組織に大いに期待したいものだ。

韓国企業が大分県で運営するメガソーラー

2015紀の国わかやま国体に社員が出場します

このかわせみ通信の編集員でもある営業部の大市が、9/26から開催される「2015紀の国わかやま国体」に弓道競技（成年女子3人団体のメンバー）で出場することになりました。当社としては初めての国体選手ですので、ここで紹介させていただきます。三重県は成年男子の部も出場とのことですので、他の選手と共に頑張ってきてほしいです。

※国体とは、国民体育大会のことで昭和21年から毎年開催され、都道府県対抗で天皇杯（男女総合成績第一位）、皇后杯（女子総合成績第一位）を競う、我が国最大の国民スポーツの祭典です。競技会場は都道府県持ち回りで、冬季及び本大会で全国から2万5千人以上のスポーツ選手が参加します。国体には、各競技の各種別（少年男子／女子・成年男子／女子）の全ての都道府県代表が出場できる訳ではなく、全国を9ブロックに分けた各競技種別のブロック大会で出場権を獲得した都道府県の代表選手又はチームが出場します。平成33年には三重県で第76回大会が開催される予定です。

測ってみよう！探検隊 Vol.48

畑の土の腐植成分を調べてみよう！

水田や畑など土壌中に腐植酸が含まれることで、植物の生育や土壌中の有機汚染物質の浄化、金属緩衝能に影響があるとされています。そこで、実際に社員宅の農地よりサンプルを募り、フミン酸量から腐植の含有量を求め、目標とされている濃度と比べてみました。結果は下表のとおりですが、作物を育てる適正値に満たない農地がわかる結果に。土壌診断は適正な土質を保ちつつ、作物の生育や収穫量を伸ばすには今後有効的な手段だと感じました。こういった分析は堆肥の低減を目指せるとして注目されています。

	含有量（%）	
	フミン酸	腐　植
サンプル A	1.8	7.2
サンプル B	1.1	4.4
サンプル C	0.1	0.4
サンプル D	0.6	2.4
サンプル E	0.3	1.2
目標値	―	3% 以上（畑）

不適正

フミン酸量を NAGOYA 法にて測定後、腐植（フルボ酸・フミン酸等）の含有率を計算にて求めた。　※参考：JA 全農　肥料農薬部資料より

社員プチコラム

岡田　健太（四日市　営業部）

東海テクノ　テニス部のマスコットキャラクター担当　岡田です！　我が部は会社のすぐ傍が三滝テニスコートという好立地を活かして経験者・未経験者問わず賑やかに活動しています。最近は三重県内の大会にも出場しており、学生の頃に味わった緊張感を今になってまた感じています。このような大会特有の緊張感を社会人になってからは感じる機会が無かったので、気持ちは学生時代に戻って頑張っています。これで体型も学生時代に戻ると良いですけど…(笑)

編集後記

7月号で作成したストームグラスのその後ですが、8月はほとんど結晶がありませんでしたが、最近は低気圧や台風の接近に伴って、結晶が成長してくることが多く観察でき、昔の人の技術力の高さに驚いています。想定外の災害が続いている今、何をすべきなのか何ができるのか今一度見直しが必要だと感じています。（たくぼん）